

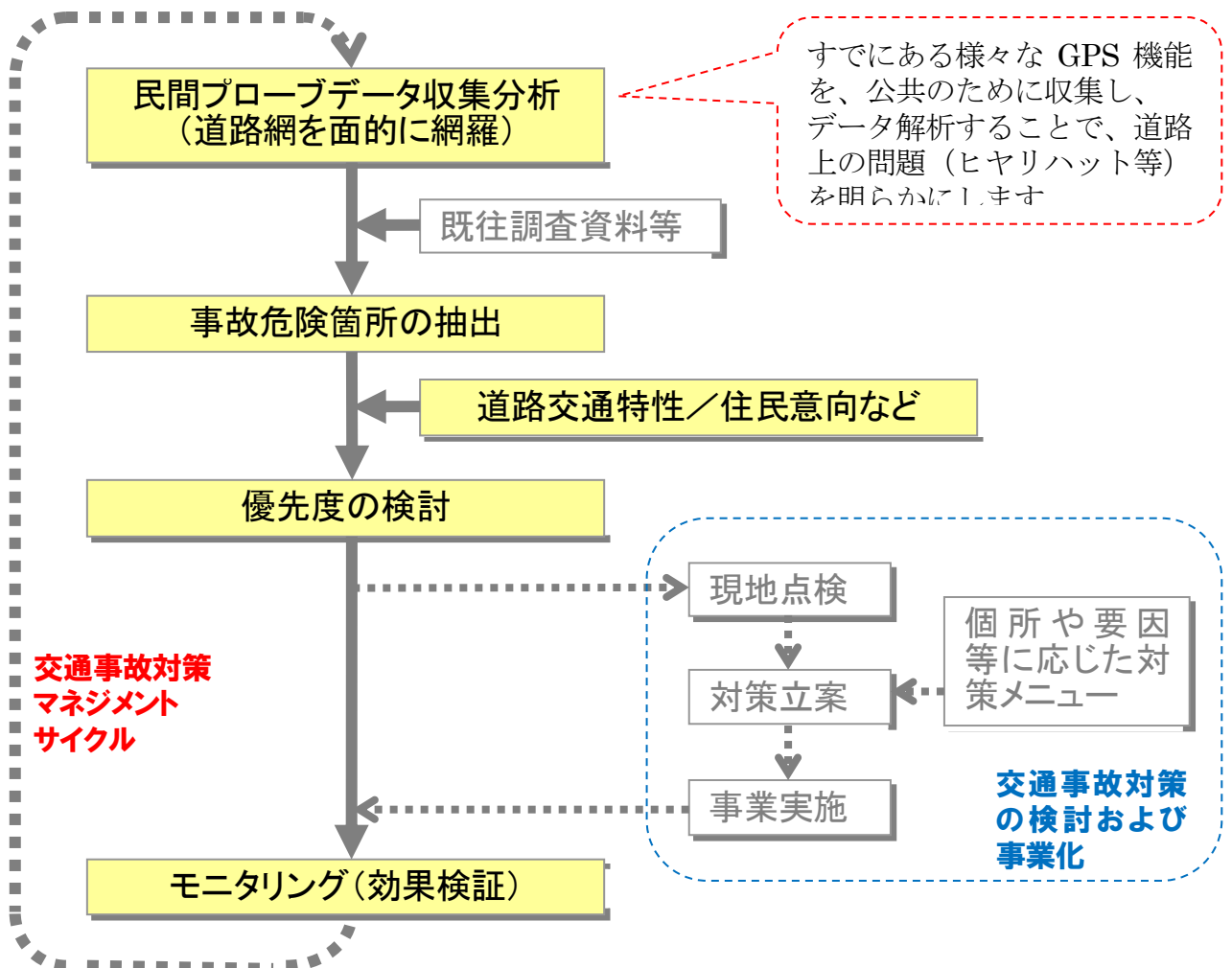
効率的な事故対策マネジメント手法の提案

1. 交通事故対策事業の課題

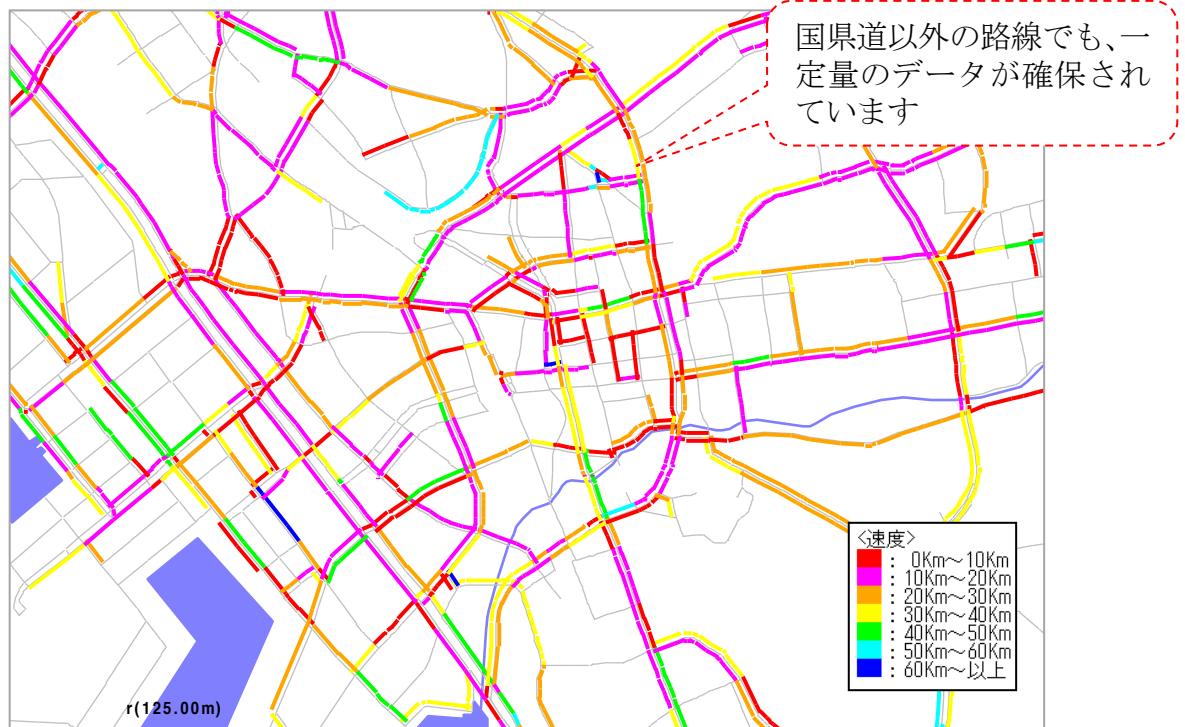
- 市民生活の安全安心の向上に向け、道路における事故防止対策は重要です。
- そのため道路管理者としては、事故危険箇所を見極め、優先度をつけ、効果的な対策を講じ、効果モニタリングし、さらに改善を施すといったマネジメントが求められます。
- しかしながら、マネジメントを行うにあたっては、次のような課題が想定されます。
 - ① 事故危険箇所をどうやって抽出するか？（例えば、「事故が多発する箇所」は見えるものの、「事故の危険性が潜んでいる箇所＝ヒヤリハット箇所」は、見えにくい。）
 - ② 複数の問題箇所を実態調査で毎年モニタリングするのは、コストがかかりすぎる。

2. 交通事故対策マネジメント手法の提案

民間プローブデータを活用し、事故危険箇所を定量的に抽出、優先度を示し、対策後の効果検証も含めた定期的なモニタリング



千葉市内のプロブデータの一例



ヒアリハット箇所を抽出した例



お問い合わせ先

株式会社 ケー・シー・エス 東京支社
 〒112-0002 東京都文京区小石川 1-1-17
 TEL : 03-6240-0597 FAX : 03-6240-0598

E-mail : eigyo@kcsweb.co.jp
 URL : <http://www.kcsweb.co.jp/>